

第47回 子どもの学びを創る会アンケート結果

1 話題提供「深川小学校のスタートカリキュラムの考え方と実践」について

- どのようなねらいで、どのように取り組まれているのかが大変分かりやすく教えていただけてよかったです。スタートカリキュラムという言葉は、聞いたことがありましたが、どのようなことか知らなかったのですが詳しく分かりました。4月の1年生の様子が見てみたいです。
また、スタートカリキュラムだけではなく、各学年でもカリキュラムづくり、毎月反省されているのもいいなと思いました。(山口市・女性)
- 実践したことを評価・改善していくためにカリキュラムづくりが必要ということが分かりました。5園を一つにまとめるのではなく、スタートカリキュラムを続けていくことで改善が見えるということが分かりました。(長門市・女性)
- とても参考になりました。幼保小をどのようにつないでいくか、具体を出していただくことで、入学してくる不安をいかに対応していくか考えていきたいと思います。(長門市・男性)
- ある程度、前年度のものがあったり、参考にして計画・予定を立てますが、学校としてのスタートカリキュラムがあると、新しい1年生をもつ場合にも、他学年とのかかわりにおいても、とても進めやすいと思いました。
1週毎のめあて(テーマ)を決めるという考え方(カリキュラム)がいいなあと思いました。参考にしたい。(長門市・女性)
- まだ、1年生の担任をしたことがありませんが、年度初めの大変さを感じました。教員の工夫によってスムーズな接続ができるのだと思いました。(防府市・女性)
- 小学校の授業の様子を知ることができてよかったです。とても努力されている様子がうかがえました。ユニバーサルデザイン授業はとてもよいことだと思いました。(長門市・女性)
- 幼保とのつながりがカリキュラムの中に感じられました。とても勉強になりました。(長門市・女性)
- 不安や期待を持って入学する園児にとっては、安心して学校生活を楽しむことができる考え方と実践になっていると思う。
- 貴重な提言ありがとうございました。校種間の接続は本当に難しいのですが、深川小が取り組まれているようなスタートカリキュラムが存在しているとかなり滑らかに接続ができますね。
深川小の取組、参考にさせていただきたいと思います。(山口市・男性)
- 本校でも今年度(24年度)からスタートカリキュラムを始めました。まだまだ手探りのことが多く、大変参考になりました。園体験はぜったいやりたいと思います。(下関市・女性)
- 全校体制できちんと記録ののこされているところがすばらしいと思いました。スタートカリキュラム編成の留意点として、幼児教育の成果を活用することがとても大事と思いました。(萩市・女性)
- 今まで、多くの1年生を見てきましたが、今まで幼児期の教育を意識し学習がすすめられていなかったように思います。1年生ができることを教師のイメージだけでは?!できないと判断し、できない子への支援としてやっていたように感じます。(下関市・女性)

- スタートカリキュラムをまずは実践していくことが大切なのだと思います。使いやすいカリキュラムにするための様々な工夫が大変参考になりました。(下関市・男性)
- 小学校 1 年生で生活の流れ、学習のあり方がわかり、保育園から子どもを送る側として、子どもの育ちへの関わりがわかってよかった。
もっと幼保からの発信の大切さ、より一層の連携が必要だと感じました。(長門市・女性)
- とても参考になりました。生活科を中心にした単元化を考え、本校もスタートカリキュラムを作り上げ、全校体制で取り組めたらと思いました。(長門市・女性)
- 全校体制で行うところが大切だと思います。自分の学校では、1 年生以外の教員は 1 年生が何をしているかよくわかっていません。
参考になりました。とても分かりやすかったです。(長門市・男性)
- まず、幼保と小を円滑に接続するという視点が大切だと感じました。自分は 1 年生の学習や生活をよく理解できていません。スタートカリキュラムを組んで全校で進んでいくことはとても有効なのでないかと思いました。(長門市・男性)
- アプローチカリキュラムは新しいものを一からつくるものではなく、今年度実践されたことをまとめて形(文書や表)にしていくことでスタートカリキュラムにつなげ、4 月から活用できると改めて感じました。歌や手遊びは 4 月から活用(実践)していくことで子どもたちのために役立てられると思いました。(長門市・女性)
- 1 年生担任をしたことはありますが、ここ最近離れていましたので、大変参考になりました。単学級であるならば、学校としてのスタートカリキュラムがあれば安心して、それをもとに先生の工夫を加えながら行うことができます。担任任せではなく、学校として考えておくことは大切なことですね。
また低学年授業のユニバーサルデザイン化のお話の視覚支援が大変参考になりました。
- 保育園・幼稚園の年長さんが小学校 1 年生となり、学校生活にどう慣れていくのかな？と幼稚園教諭として疑問に思っていたのですが、深川小学校さんのスタートカリキュラムについて教えていただいて、ねらいや授業内容がしっかりと考えられており、感心しました。子どもたちの視点でカリキュラムを作っていくことで、一人ひとりの自発性が育まれていくのだと分かりました。飯田先生がされていた”写真によるお手本の提示“はとても参考になりました。
私も幼稚園で試してみようと思います。小学校での取組がよくわかり、勉強になりました。(長門市・女性)
- 今回のテーマのようなことを本気で考え取り組んでおられる方々いらっしやることに感動!!です。課題・・・たくさんあると思います。ぜひ世に広めてください。お願いします。質問にあったそれぞれの幼保の成果をどうやって把握し、活用するか幼保、私立公立 etc・・・現実にはカリキュラム、大事にしていることバラバラです。極論は、「幼稚園は学校です。」というのなら、幼稚園教育も義務教育化し、教員、保育士の地位も見合ったものになればと思います。無理ですね・・・。(山口市・女性)
- スタートカリキュラムの中に安心感を持たせる取組み、5 領域の総合的な学びから教科への系統的な学びを大切に合科的・関連的な学習内容が盛り込まれ大変参考になった。3 学級が合同で授業を行っていきことも、同じ園の児童と一緒に活動することへの安心感やそろえて指導することのよさ(次学年へのつながり)があるように感じた。実践に基づいて具体的な発表はとても参考になった。(長門市・女性)

- 「小1プロブレム」や「中1ギャップ」など、子どもたちがとまどいがちな段階を自分の経験を生かして乗り越えるために、全校体制で理解をすること、進めることの大切さを学ぶことができました。自分の実践に生かすことで、勤務校に復伝していけたらと思います。ユニバーサルデザイン授業の具体的実践をもっと教えていただきたいです。(下関市・女性)
- 小学校1年生に入学式の次の日から、具体的にどんな授業をしたらいいのか全くイメージすることができなかったのですが、今日お話を聞いて、国語も音楽も、読み聞かせや手遊びなどで親しみやすいところから、45分授業に小学生生活のリズムに慣れさせていくのだなと感じました。(長門市・女性)
- みんなが生活しやすく、みんなが参加できるヒントをたくさんいただいたので実践していきたいです。子どもたちが安心感をもって学校生活を送ることができるようにカリキュラムや支援を考えながらすすめていきたいと思いました。(長門市・女性)
- 昨日は勉強させていただきました。ありがとうございます。当然、スタートカリキュラムについても勉強になったのですが、特に感動したのは、芝田校長先生がとにかく「絵に描いたモチ」ではなく、本当に教職員を幼稚園・保育園に行ってもらい、実感してもらったり、それをレポートにしたりしてもらうという実践企画力です。それを教職員に意欲を持って(追求のエネルギー)取組んでもらえるようにしていること。こんな校長先生と出会っている先生方は幸せだと思います。そして、それをもとに語られるので、ああ、こういうこともできるんだなあ、もっと、こんなことも考えられるかなって新たな取り組みが考えられます。やっぱりすごい校長先生ですね。こんな校長先生ばっかりだといいですけどねえ。(山口市・男性)
- 今時の教育事情についていかなきゃという思いで参加させていただいています。若い人には是非学んでほしい内容がたくさんある「子どもの学びを創る会」なので、これからの長門市、いや山口県の教育を担う若い人たちが参加できるようにするにはどうしたらいいのかなあ・・・と思います。文で伝える力がないので、口頭でまた伝えたいと思います。
- スタートカリキュラムについてですが、学校をあげてカリキュラムが設定してあることがいいなと思いました。10年前に自分が深川小で1年担任をした際も、何となくは学年で動いていたように記憶していますが、今回報告されたようなしっかりとした形はありませんでした。学年でしっかりとしためあてをもって動くということは、新入児や保護者にとっても安心でしょうが、年度始めに方向性や指導法を担当が共有しておくという意味でもいいと思いました。学級によっての違いが大きいと、のちのち子どもも保護者も不安や不満が出やすいと思うので。(山陽小野田市・男性)
- 深川小学校のスタートカリキュラムについては非常に興味が湧きました。1年生スタートの2週間を気なる子どもたちを中心に、どの子も保護者も安心して学校へ登校できる体制をつくっておくことは本当に大切だと思います。小学校は担任の考え方で子どもたちの生活が非常に左右されます。だからこそ、3クラス共通に取り組むよさがあると思いました。年間を通じて、どこを揃えていくのかを考えていくことも大切なのかなと思いました。(萩市・男性)
-

2 講話「幼保・小の連携について、子どもの視点で考える」について

- 今まで自分がいかに子どもの見方が甘かったかということに気付かされました。1年生はできない、分らないと思いつんでいたところがあったことを反省しました。子どもをいろいろな視点から見て、その子に必要な支援をしていきたいと思います。幼保のことがよく分かってよかったです。(山口市・女性)

- “場を共有するがそれぞれのねらいは明確に”と話されたことが心に残りました。連携と聞くとすぐ交流活動を思い浮かべますが、なんのためにその活動をするのかしかりもっておくことが大切だと思いました。(長門市・女性)
- 子どものわずかな動き、行動を大切にすること、見とる力を付けていくことの大切さがわかりました。また、子ども一人ひとりが動き出すための言葉かけの大切さを考えていきたいと思います。(長門市・男性)
- 子ども一人ひとりをしっかり見ることの大切さを改めて感じました。(長門市・女性)
- 幼保と小のつながりは子どもの育ち、成長を考えるととても大事だと思います。交流をもつことが増えてきたが、まだ知らないことが多く、子どもたちの困り感が少ないように(気になる子が増えているので)これからの交流の方法も考えさせられました。方向性を示してもらいました。(長門市・女性)
- 能動性を引き出すことを今一度、考えたいと思う講話でとてもよかったです。(長門市・女性)
- 子どもの視点で考える為には、教員と保育士との連携、話し合いが大切であると思う。子どもたちの発達の過程をしっかりと理解しておくことが大切で、その上で子どもの視点を考えながら連携をとることが大切であると思う。
- 子どもを外見的な様子だけでなく、内面をしっかりと見とることができることが、やはり一番大事な教師の資質だと改めて確認させていただきました。写真や動画を交え、とても分かりやすいお話をありがとうございました。枠組み(主観?)のお話をいただきドキッとしました。多様な見方ができるよう気をつけます…。
- 幼保のこどもの育ちや活動の意味を知ることは、小学校で大いに役立つことだと思った。とかく形にはめなければと思ってしまいます、**協同**のよさを知らせ、育てていくことが高学年においても大切だと思いました
- 『低学年でのユニバーサルデザイン化』について、興味深くお話を聞きました。時に「スモールステップ」「視覚支援」については、共感できました。子どもたちの様子を写真に撮ったりビデオに撮ったりして子どもたちに見せることがよくあります。“まねる”ということから、クラス全体に広げることが私の学級ではとても効果的でした。学級経営にはしっかり活用できていたのですが、なかなか授業に生かしていないのが、私の課題です。今日お聞きした「しかけ」を考えていきたいと思います。ありがとうございました。(下関市・女性)
- 子どもの視点で考えることの大切さがとてもよくわかりました。教師が子どもを見取る力を付けていくことが大切だと感じました。交流活動についても大事な視点に気付くことができました。異年齢のみのかかわりにならるように、交流もねらい、活動内容を見直していきたいと思いました。(萩市・女性)
- 私の立場から授業については、多くは言えませんが、小学校の教員は幼児期の教育についてもっと学んでいかなければと思います。その上で連携でないかと…。(下関市・女性)
- 子どもの見取りにについて、新しい多くの視点をもらいました。幼保小を接続期というつながりととらえ、能動性を引き出す支援を意識したと思いました。(下関市・男性)
- 接続期をどう連携していくのか、子どもを見つめ、小学校、幼稚園・保育園、それぞれのねらいをしっかりと立て、交流すること、子どもにとって何を大事にするのか、何を支援するのか、改めて子どもの姿を

見つめる大切さを再確認できました。もっと幼保小の連続が深まればと思いました。いろいろな方法を聞くことができてよかったです。(長門市・女性)

- いろいろなつながりを考える視点をいただき、大変参考になりました。私の学んだことの1番は、園児が能動的になる支援をということでした。これからの Key word として取り組んでいけたらと思います。そして子どもの姿をしっかりと見取れる教師になりたいと思いました。参加してとてもよかったです。(長門市・女性)
- 幼保と小がそれぞれの教育・保育について知ることは、とても大切だと思います。「就学前に文字や数の勉強をする」・・・といったことを聞くと、前倒しをしなくても・・・とっていました。今日は、いかに連携が大切かというお話が聞けてよかったです。
- 交流は交流が目的にならないように気を付けたいと思いました。お互いにとってよい体験、学びとなるようにすることが大切だと思います。(長門市・男性)
- 「しないといけない」という気持ちが大きかったが、子どもの視点で考えると、当然されるべきことで必要不可欠なことだと痛感しました。つながり時期を意識していきたいです。(長門市・男性)
- 川崎先生にお話は理論と子どもの実態を結び付けてくださるので、大変分かりやすく勉強になります。また、ぜひお話をお聞きできる機会が頂けると幸せします。子どもの見とり方が勉強になります。子どもの姿やつぶやきから、子どもが具体的に体験していることを見取る力をつけていきたいと思います。
- 本日、改めて自分が小学校のものさしで1年生を見ているなあと思いました。幼保時期の子どもの発達や様子を学ぶことができ、幼保小のつながりの大切さを改めて感じました。また、子どもを「よく見とる」こと、教育にとって大切ことだと思います。交流場面での年長児、小学生の具体的な姿のあり方もよく分かりました。
- 写真や動画がたくさんあり、現場の様子がよくわかって良かったです。子どもたちの能動性を引き出すために保育者や教師がすべき努力は無限にあるなど感じさせられました。“教師が陥りやすい落とし穴”について教えて頂いたときは思わずドキっとしてしまいました。自分の保育はどうか、子どもたちの目線に立って生活できているかなど反省することがたくさんありました。小学校と年長児さんのふれ合う様子の動画を見て、それぞれの気持ちや思いがよく伝わってきました。ただ“交流する”と簡単にとらえるのではなく年長さん、小学校1年生のそれぞれの立場からのねらいをよく考える必要があるんだなあーと改めて考えさせられました。(長門市・女性)
- とても大切ことだと思います。が、・・・学校側、園側両方の立場を考えも、それが組織の中で第一の課題になっているところは少ないと思います。形だけというところが多いけれど、それでも十分まのかなか・・・だって日々忙し過ぎる・・・というのが本音です。「交流会」、「だんご虫」のスライド・・・たまらんです。プロの目、見取りの目と、それとは別に単純に愛しいと感じる気持ちと自分の中に共存させていきたいです。(長門市・女性)
- 教師としての「プロの目」を鍛えていきたい。(長門市・女性)
- 子どもの“能動性”の大切さ、視点がよく分かりました。小学校で子どもたちの経験を生かせるために、いろんな視点をもっていきたいです。(下関市・女性)
- 子どもの行動をじっくり見ること、そしてその行動の裏にある子どもの想いを見取れる教師になりたいと感じました。私は自分だけのイメージや考えで授業を進めてしまうので気を付けたいです。交流会に

については、幼保側、小学校側、それぞれねらいを明確にしてお互いがねらいを共有することが大切だと分かりました。(長門市・女性)

- 何気なく見ている子どもたちの様子を、子どもたちにとってどんな意味があるのかという視点をもって見取ることが必要だと感じました。(長門市・女性)
- 川崎先生の講話の中では、行事をする際に、幼保と小双方のめあてのすり合わせが必要だということが印象に残りました。小学校側から見ると、小学生が幼児のお世話をすることこそがめあてとなり、実際今まで私もよくお世話している児童を褒めてきました。しかし、幼保の方から見れば、それがめあてではないことを知りました。しっかりとした計画と連絡・相談が大切だと思いました。(山陽小野田市・男性)
- 川崎先生に久しぶりに会うことができ嬉しかったです。実際の園児や1年生との交流の動画・画像あり、川崎先生が大切にされている「一人の子どもを見取る」ことの大切さを実感することができました。特に「1年生との交流」で何を目的に交流するのかについて教師が考えておくべきことがよく分かりました。1年生の子どもにはつついお世話することを大切にしていますが、「園児がどうすれば学校を楽しく感じるか、自分で動けるようにするには1年生がどう活動すればよいか」については、一人の子どもの姿を追いかけていくことで見えてくるものがたくさんありました。一人の子どもの動き（特に気になる子どもを想定して）を考えて授業や活動を仕組んで行くことをみんなで考えていきたいです。(萩市・男性)
- 小学校低学年の担任は誰になるかわかりません。これまで、ベテランと言われる教師の極意のようになっていた1年生の入学期の指導も、これからは園とのかかわりや園児一人ひとりの課題をも考えた指導が重視されることと思っています。そういう中、川崎先生は、小学校教員が持ち合わせていない視点でお話をされ、大変参考になりました。特に、4月当初の子どもの見取り方が具体的に変わったようです。本当にありがとうございました。(長門市・男性)

3 要望, その他

- ご準備等、お疲れ様でした。今後もできる限り参加したいと思います。(長門市・男性)
- 気になる子がとても増えている。小学校でどんな子どもが気になるのか、どのように授業で工夫されているか等を知りたいです。大変有意義な内容でした。(長門市・女性)
- 授業実践がたくさん知りたい。今後とも可能な限り参加させていただきたいです。ありがとうございました。(山口市・男性)
- ありがとうございました。とても勉強になりました。(萩市・女性)
- 学校での取組を知る機会をいただいて本当にありがとうございます。日々の保育(自分)の振り返りの機会にもなりました。「一人ひとりの子どもを大切に」・・・。(長門市・女性)
- 教科指導(UD の視点も含めて)の具体的な実践、授業づくり勉強になりました。時間や雰囲気よく参加しやすいです。毎回、自分の未熟さを思い知らされますが、これからも学びと刺激をいただきたいです。(長門市・男性)
- 新しい発見や学びがたくさんあり、とても勉強になりました。日頃の生活の中では気を付けられないような

見方や考え方を教えていただいたので今後の保育の中で、生かしていきたいと思います。ありがとうございました。(長門市・男性)

- とてもとてもとてもいい勉強になりました。ありがとうございました。(山口市・女性)
- 自分の子どもが今年生なのですが、年長さんで出来ていたことが一年生でできていないと感じることがあります。(謝辞を言われた先生のように) 幼保で蓄えた力をそのまま小学校で発揮できるようになるといいなと思いました。(山陽小野田市・男性)
- 他の人の算数の取組を聞いてみたいです。(萩市・男性)
- 焦点化・視覚化・共有化の要件を中心にUD化を提案してはいますが、もっと焦点化・視覚化について細かい提案ができるとよいと思います。「ただ視覚的に見せればよいのではなく、どう見せていくと効果的なのか」などについて詳しく取り組んでいきたいと思います。(萩市・男性)